

## 8 ニュージーランド(New Zealand)

### 援助政策等

#### 1. 基本方針

ニュージーランド政府の開発援助には根拠法はないが、政府の開発援助は、途上国における持続可能な開発や貧困を削減するための資源や知見、技術への投資に向けられている。同援助には、自然災害や紛争の際の人命救助や物的支援などの人道支援も含まれる。ニュージーランドの援助の目的は、太平洋島嶼国地域をはじめとする地域において、ニュージーランドが有する最も優れた知見や技術を活かして、繁栄と安定を共有し拡大することである。ニュージーランドは、貧困を削減するために途上国の持続可能な発展を支援し、より安全で、平等で、豊かな世界の実現のために貢献するとしている。

#### 2. 近年における特徴・傾向

近年、太平洋島嶼国地域において、大国による戦略的な競争や不確定要素が増加する一方で、ニュージーランドの影響力が相対的に低下しつつあったという認識の下、2018年3月、ピーターズ副首相兼外相が、「パシフィック・リセット：太平洋地域に対する新たな視点と政策強化」政策を公表し、同年6月、同外相演説を行った。これらに基づき、ニュージーランドの援助額が増加され、太平洋島嶼国地域への援助が強化された。また、豪州、欧米諸国、日本といった友好国との協力の強化も進んでいる。

2018-21年の3年間のODA予算総額約22億NZドル（約15.2億米ドル<sup>(注1)</sup>）のうち、太平洋島嶼国地域に対して約11.3億NZドル（約7.8億米ドル<sup>(注1)</sup>）（ニュージーランドの援助総額の約6割）を充当する予定である。特に気候変動、医療・教育分野への支援を強化するとともに、グッド・ガバナンスや透明性、人権、女性の政治・経済的地位の向上、若者への支援を通じて、ニュージーランドの価値観の定着を促進する狙いがある。

また、フィジー、サモア、パプアニューギニア、キリバス、ソロモン諸島、バヌアツ、トンガおよびホノルル総領事館が兼轄するパラオ、マーシャル諸島およびミクロネシアといった島嶼国地域、加えて東京、北京、ブリュッセルおよびニューヨークのニュージーランド大使

館・総領事館等の島嶼国担当者の増員を実施している。さらに、多角的な支援展開を視野に入れ、太平洋特別基金の新設や放送・ジャーナリズム支援、ニュージーランド赤十字社を通じた支援、海外ボランティア・サービスを通じた支援も実施している。

#### 3. 援助規模

ニュージーランドの援助政策および援助額は、基本的に3年ごとに改訂される。単年度別の予算額は以下のとおり。

- (1) 2016/2017年度：6億3,900万NZドル（約4.5億米ドル<sup>(注2)</sup>）（そのうち、国際機関へ1億NZドル〈約0.76億米ドル<sup>(注2)</sup>〉）
- (2) 2017/2018年度：7億1,060万NZドル（約5.0億米ドル<sup>(注3)</sup>）（そのうち、国際機関へ1億100万NZドル〈約0.7億米ドル<sup>(注3)</sup>〉）
- (3) 2018/2019年度予算：7億6,800万NZドル（約5.3億米ドル<sup>(注1)</sup>）（そのうち、国際機関へ5,500万NZドル〈約0.4億米ドル<sup>(注1)</sup>〉）

#### 4. 重点分野・地域

##### (1) 重点分野

ニュージーランドは、途上国における開発の機会とニュージーランドの強みを結び付けられる分野を重視し優先的に支援している。特に、以下の12の重点分野を掲げており、その中でも、同国が専門的知識を有し、持続的かつ包括的な開発支援が見込まれる再生可能エネルギー分野や農業分野を最重点分野としている。

- ① 再生可能エネルギー：安価かつ信頼できるクリーンなエネルギー
- ② 農業：経済的および食糧安全保障上の利益の増大
- ③ 情報通信技術 (ICT)：ICT連結、アクセスおよび利用の拡大
- ④ 漁業：持続可能な漁業、水産養殖による経済的および食糧安全保障上の利益拡大
- ⑤ 観光業
- ⑥ 貿易および労働の流動性
- ⑦ 経済的ガバナンスの強化

注1：NZドル/米ドルの換算は、OECD/DACが公表した2018年用レートを適用。

注2：NZドル/米ドルの換算は、OECD/DACが公表した2016年用レートを適用。

注3：NZドル/米ドルの換算は、OECD/DACが公表した2017年用レートを適用。

- ⑧ 法および秩序制度の強化
- ⑨ 健康の向上
- ⑩ 教育の向上
- ⑪ (自然災害の被害等に対する) レジリエンスの強化
- ⑫ 人道的緊急事態への対応

(2) 重点国・地域

歴史、文化、政治、民族的な観点から太平洋島嶼<sup>とうしよ</sup>国地域が重点地域であり、援助総額の6割が同地域への支援である。なお、同地域の中では、ニュージーランドと地理的に近く、自由連合の関係にある国（クック、ニウエ）や、友好協定関係にある国（サモア）があるポリネシア地域、パプアニューギニアやバヌアツなど経済・ビジネス関係があるメラネシア地域に対する援助額が比較的多い。

**実施体制**

ニュージーランドでは、外務貿易省が政府の開発援助所掌機関と援助の実施機関を兼ねている。2016年までは、同省国際開発グループ（IDG：International Development Group）が援助政策の企画・立案から実施、評価にいたる業務を担っていたが、2017年、業務をより効率的に遂行するため、外務貿易省内の大洋州局とIDGが「大洋州・開発グループ」として統合され、同グループが年次報告書を作成している。同グループ内の経済開発担当関

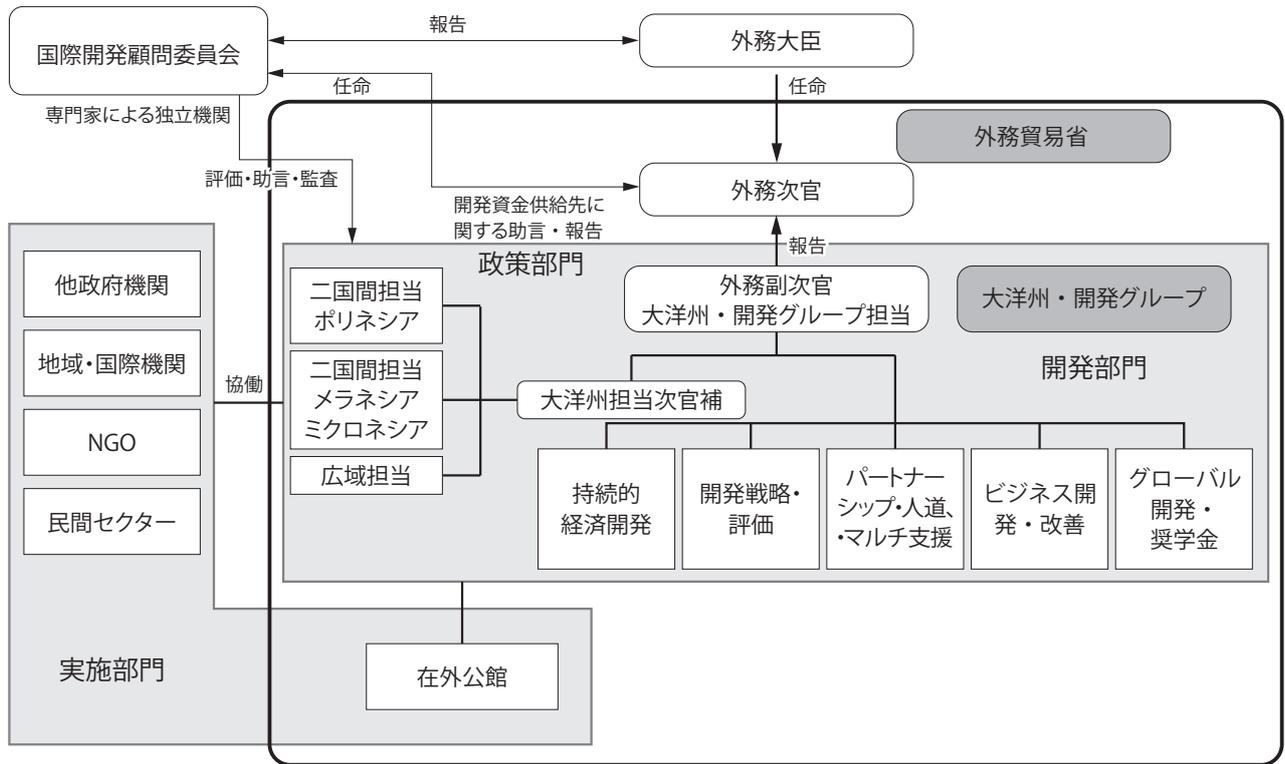
連部署は、開発戦略・評価局、ビジネス開発・改善局、グローバル開発・奨学金局、持続的経済開発局、パートナーシップ・人道援助・マルチ支援局がある。外務貿易省の傘下に、NZ AID（New Zealand Aid Programme、本部はウェリントン）があり、途上国を拠点に支援活動を実施している。

また、太平洋島嶼<sup>とうしよ</sup>国地域における自然災害への対応や人命救助、被災地域支援については、政府全体でのアプローチを取っており、保健省、国防省、警察、民間貿易危機管理庁（MCDEM）、消防当局が協働して対応することとなっている。また、自然災害の被災地域における復興支援のため、ニュージーランドを拠点とする14のNGO団体がある。

●ウェブサイト

- ・外務貿易省2016-17年次報告：  
<https://www.mfat.govt.nz/en/media-and-resources/news/annual-report-2016-17/>
- ・外務貿易省2017-18年次報告：  
<https://www.mfat.govt.nz/en/about-us/mfat-annual-report-2017-2018/read-the-mfat-annual-report-2017-18/>
- ・外務貿易省政府開発援助の優先事項：  
<https://www.mfat.govt.nz/en/aid-and-development/our-approach-to-aid/our-priorities/>

### 援助実施体制図



(1) 政府開発援助上位10か国

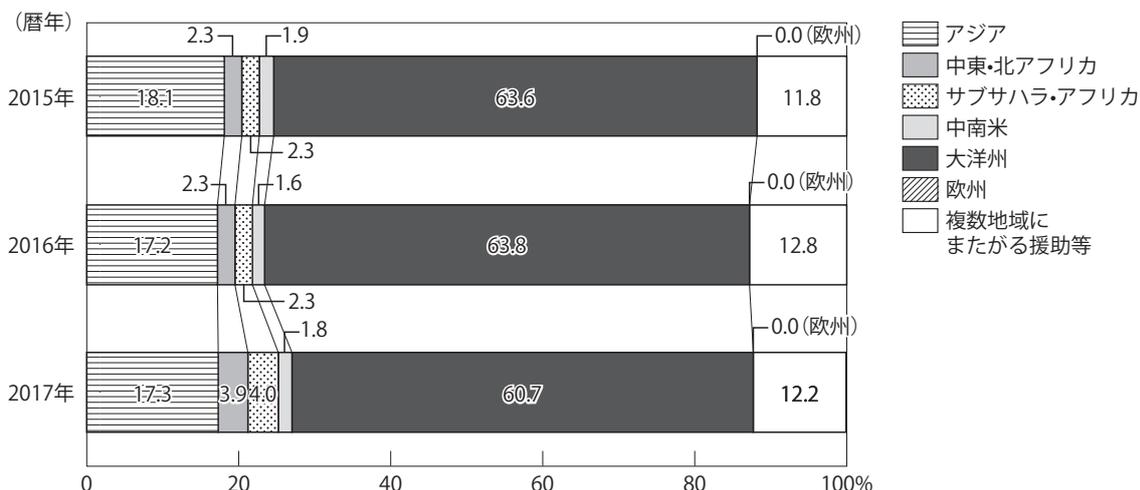
(支出純額ベース、単位:百万ドル、%)

順位	国・地域名	2015年		順位	国・地域名	2016年		順位	国・地域名	2017年	
		ODA計	構成比(%)			ODA計	構成比(%)			ODA計	構成比(%)
1	バヌアツ	26.88	7.5	1	バヌアツ	27.28	7.6	1	パプアニューギニア	22.54	6.1
2	ソロモン	20.28	5.7	2	パプアニューギニア	23.29	6.5	2	ソロモン	18.58	5.0
3	パプアニューギニア	19.64	5.5	3	トンガ	16.99	4.7	3	フィジー	16.77	4.5
4	ニウエ	16.72	4.7	4	フィジー	16.42	4.6	4	バヌアツ	16.42	4.4
5	クック	16.01	4.5	5	サモア	14.79	4.1	5	サモア	15.50	4.2
6	東ティモール	14.91	4.2	6	ソロモン	14.26	4.0	6	キリバス	12.60	3.4
7	ツバル	14.22	4.0	7	[トケラウ]	13.65	3.8	7	インドネシア	12.58	3.4
8	トンガ	14.11	3.9	8	クック	11.19	3.1	8	ニウエ	11.96	3.2
9	サモア	13.80	3.9	9	キリバス	11.18	3.1	9	東ティモール	11.49	3.1
10	キリバス	13.61	3.8	10	東ティモール	10.77	3.0	10	クック	11.41	3.1
10位の合計		170.18	47.5	10位の合計		159.82	44.3	10位の合計		149.85	40.4
二国間ODA合計		358.06	100.0	二国間ODA合計		360.80	100.0	二国間ODA合計		370.61	100.0

(注)  
 ・四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。  
 ・[ ]は地域名を示す。

(2) 地域別割合の推移

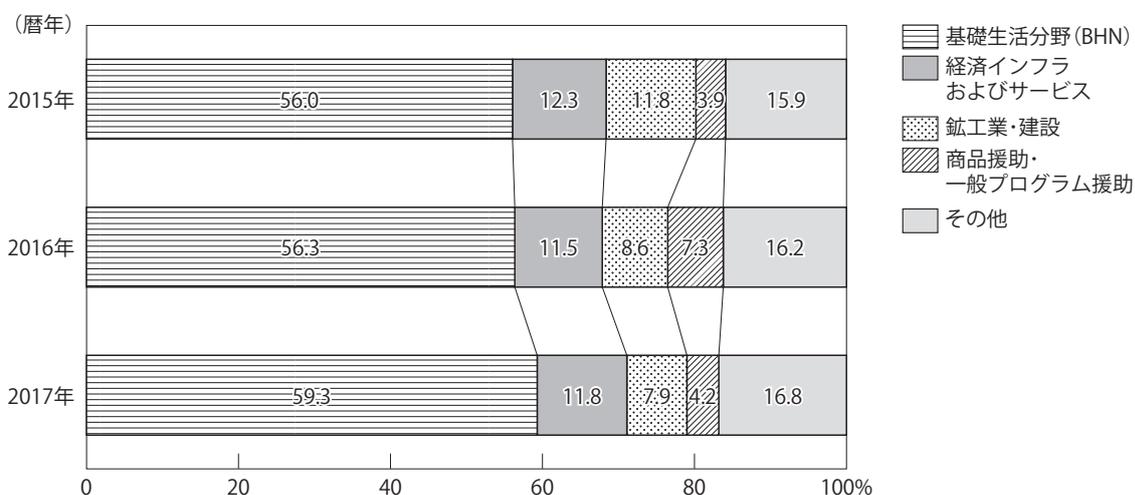
(支出総額ベース、単位:%)



(注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

(3) 分野別割合の推移

(約束額ベース、単位:%)



(注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。